

2016年12月20日

**スポーツ医・科学の振興・国際競技力の更なる強化に向けた共同研究  
「JSC ハイパフォーマンスセンター Total Conditioning Research Project」が始動**

- 日本スポーツ振興センターと大塚ホールディングスは、スポーツ医・科学の振興・国際競技力強化のための共同プロジェクト「JSC ハイパフォーマンスセンター Total Conditioning Research Project」をスタート
- 2016年から4年間で得られた研究等の成果を元に、スポーツコンディショニングに関するガイドライン等を策定し2020年以降、国民の健康維持・増進に向けた啓発活動に応用
- 本プロジェクトでは、トップアスリートのパフォーマンス維持・向上、トップオブトップの競技レベルの維持、トップアスリートの発掘・育成・強化に役立つ研究を実施

独立行政法人日本スポーツ振興センター(本部:東京都北区、理事長:大東和美 以下 JSC)と大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:樋口達夫)は、スポーツ医・科学の振興、国際競技力の更なる強化に向けた産官学の共同研究「JSC ハイパフォーマンスセンター Total Conditioning Research Project」を2016年12月より開始します。

本プロジェクトの運営は、日本スポーツ振興センター・ハイパフォーマンスセンター(以下 HPC)<sup>\*1</sup>と大塚製薬株式会社(大塚ホールディングス 100%子会社)が担当します。

スポーツ庁は、本年10月、2020年を見据えた「鈴木プラン」<sup>\*2</sup>において、競技力強化のための今後の支援方針「<—2020年以降を見通した強力で持続可能な支援体制の構築—>を示し、その中でHPCの機能強化をあげています。

JSCは、コーポレート・メッセージである「未来を育てよう、スポーツの力で。」をビジョンとして、スポーツの振興と児童生徒等の健康の保持増進を図るため、スポーツの振興のために必要な支援及び学校の管理下における児童生徒等の災害に関する必要な給付を行ってまいりました。特にJSCが管理・運営する国立スポーツ科学センターでは我が国のトップレベルの競技者及びチームの国際競技力の向上を、スポーツ医・科学の各側面から組織的・総合的に支援する業務を行っています。



左から、JSC アンバサダー野村忠宏、大塚製薬:新田執行役員、JSC:高谷理事、久木留部長、河合純一

そして大塚グループは、スポーツ栄養分野の研究開発から生まれた製品や知見により、アスリートをサポートしてまいりました。

これらの強みを活かし、この度、2020年に向けた更なるスポーツ医・科学の振興、国際競技力強化を目指し、共同研究を実施することとなりました。本プロジェクトは、新生HPCの民間企業との協働による初めての事業となります。

本プロジェクトでは、国際競技力強化の最大化を実現させる研究を実施し、この研究で得られた知見から、スポーツ分野におけるコンディショニングに関するガイドラインを策定し、それを2020年以降の「ソフトレガシー」として、国民の健康維持・増進に向けた啓発活動に応用してまいります。

なお、本プロジェクトは、3つの研究種目 ①指定課題研究 ②領域指定研究 ③パイロットスタディー等で構成され、この中の②の領域指定研究については、2017年1月末より公募を開始します。（詳細は日本スポーツ振興センターのホームページなどで案内を予定しています。）

\*1 ハイパフォーマンスセンターは、日本の競技スポーツの拠点として、東京都北区西が丘地区にある国立スポーツ科学センター（JISS）及び味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）を設置し、JISS 及び NTC にあるスポーツ医・科学研究、スポーツ医・科学・情報サポート、トレーニング場等の機能をオリンピック競技とパラリンピック競技を一体的に捉え、機能強化を図るものです。

\*2 2016年10月3日スポーツ庁：競技力強化のための今後の支援方針（鈴木プラン）＜要旨＞－2020年以降を見通した強力で持続可能な支援体制の構築－2. ハイパフォーマンスセンターの機能強化

[http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop07/list/detail/1377938.htm](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop07/list/detail/1377938.htm)

## **独立行政法人日本スポーツ振興センター・ハイパフォーマンスセンター(HPC)**

設	立	2003年10月1日
代	表	者 理事長 大東 和美(おおひがし かずみ)
本	社	所 在 地 〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-35
従	業	員 数 397名 (2016年4月4日現在の「常勤職員数」)

## **大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)**

設	立	2008年7月8日
資	本	金 816億90百万円
代	表	者 代表取締役社長 兼 CEO 樋口 達夫(ひぐち たつお)
本	社	所 在 地 〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2丁目 9番地
従	業	員 数 78名 (2015年12月31日現在)
事	業	内 容 持株会社

# JSC ハイパフォーマンスセンターTotal Conditioning Research Project 概要

## 1. 研究目的

国際競技力強化の最大限化を実現させる研究を実施し、研究で得られた知見からコンディショニングに関するガイドラインを策定する。更に、研究成果を「ソフトレガシー」として、国民の健康維持・増進に向けた啓発活動に応用する。

## 2. 研究コンセプト

- ・ トップアスリートのパフォーマンス維持・向上に役立つ研究
- ・ トップオブトップの競技レベルの維持に役立つ研究
- ・ トップアスリート・パスウェイに役立つ研究(発掘・育成・強化)
- ・ スポーツ科学の振興に貢献できる研究

## 3. ガイドライン項目イメージ

- ・ アスリートにおけるコンディショニング
- ・ 女性アスリートにおけるコンディショニング
- ・ ジュニアアスリートにおけるコンディショニング
- ・ パラリンピックアスリートにおけるコンディショニング

※コンディショニングの定義

目標達成に必要な全ての要因を望ましい状態に整えること。

## 4. 研究種目

### ① 指定課題研究

ハイパフォーマンスセンター(以下、「HPC」という)が指定する研究課題について、HPC、大塚製薬株式会社、外部研究機関で構成する研究推進委員会が行う研究。

### ② 領域指定研究(公募型)

HPC が指定する領域の研究を公募し、採択された研究機関と研究推進委員会の各カテゴリー担当者とは連携して行う研究。

### ③ パイロットスタディー等

現場での課題を柔軟に対応できるモデルとなる研究。

## 5. 研究期間

2017年1月～2021年3月